

「今の自分があるのは」

(株)扶桑 / 味季料理 りんどう 専務取締役 みやもと 宮本 りょうすけ 了介



〔株)扶桑〕
住 所: 加古川市加古川町木村474-5
T E L: 079-426-6033
営業内容: 不動産売買・仲介 等
〔味季料理 りんどう〕
住 所: 加古川市加古川町木村474-2
T E L: 079-424-8100
営業内容: 日本料理

私は、1979年7月28日に加古川の地で産声を上げました。そして、生後6カ月で母に連れられスイミングスクールに通いだします。小学校3年生のころには選手育成コースで頑張っていたのですが、水泳はここまで。4年生の夏ごろには、町内会のソフトボールもしながら、父に連れられ高砂の少年硬式野球チーム『兵庫高砂』に入会し、野球の道へ。週に5日、放課後にバットを背負い、自転車で30分ほどかけて高砂まで練習に行っていました。チームメイトに恵まれ、6年生で夏の全国大会優勝。野球はここまで。

中学校は、千葉県の全寮制の中高一貫校である『暁星国際学園』に入学。ちなみに男子校でした。ここでは、ゴルフ部に入部しました。寮生活は、今思うととても貴重な経験でした。中学校3年生までは16人部屋。2段ベットが8個ありました。朝は6時半起床。7時半から1時間目が始まります。夜は6時から10時まで自習室に入れられ、勉強させられます。10時15分には消灯寮には体育の先生が学年に一人泊まり込んでいました。消灯後は見回りがあるので、寝るしかありません。テレビもなく、山の中に学校があったので、抜け出しても、駅までは車で30分ほどかかるため、逃げ出すことは諦めました。

高校になると、急に女子部ができました。中学1年と高校1年、それぞれ40人ぐらいが入学してきました。校舎と寮は別です。一日中、いや、ずっと男ばかりいた世界に女の子が入ってきました。未知との遭遇でした。話はできないし、近づけないし、会話のネタもないし、放課後遊びに行くところすらない。ところが、先生が少なかったため、授業が被る科目があったんです。同年の唯一のチャンスタイムでした。それから、3年生までは、毎年女の子が増えてくるので、それなりに刺激のある3年間でした。寮生活についてはここでは書けないことも多いので、個人的に聞いて下さい(笑)。

大学は、『甲南大学』に入学しました。6年ぶりの関西。標準語よりやっぱ関西弁が心地よかったです。大学でも、ゴルフ部に所属。4年間、ゴルフに打ち込んでいました。ここでも、チームメイトに恵まれ、チームで全国大会に出場。記念出場(スコアは恥ずかしくて書けません)もでき、いい思い出になりました。

そして、就職。日本料理の世界へ。三宮の有名な日本料理屋さんで修業させていただきました。この世界も凄かった。また、寮生活をしたのですが、3LDKに8人はいましたね。朝早く出勤して、まずは先輩が仕事をしやすいように段取りします。先輩が来た時に出来ていないと怒られるので必死でした。帰るのは夜中の3時ごろでした。休憩はとれて30分。ちなみに、ここでは逃げる人続出でした。仕事の内容は、ひたすら洗い物、掃除、洗濯、買い物、おやっさんの送迎(なぜか車はリンカーン)、山に登って料理に使う紅葉探し……。料理は、してないですね。支店の寿司屋の方が長く働いていましたが、料理はさせてもらえないので、仕事が終わってから、こんにゃくで寿司を握る練習をしています。先輩に殴られ、おやっさんにも殴られ。辛抱だけは強くなりました(笑)。

4年半でしたが、今なら笑ってお話できます。

その後、実家である『りんどう』に戻り、当時の料理長の下で再び修業して料理の腕を磨きました。のちにフレッチで修業した弟も実家に戻ってきました。今は弟(料理長)に料理を任せて、私は父の不動産業を勉強中です。

40歳で、ありがたいことに結婚することができ、昨年の7月には長男も誕生し、今に至ります。コロナ渦ではありますが、これまでを経験とこれからの縁を大切に頑張りたいと思います。よろしくお祈りします。